

活動報告

団体名	認定NPO法人 日本ボランティアコーディネーター協会
活動名	長野市内の被災者支援拠点におけるボランティアコーディネート業務
活動期間	2019/12/14 ~ 2019/12/19
活動の成果	避難所や在宅で避難生活を送る人は変化に乏しい食事や生活を強いられがちになる。そこにさまざまな団体をコーディネートして炊き出しやリラクゼーションを行ってもらうことで、生活の改善に資することができた。また、活動して疲れたボランティアに対し癒しを提供できた。また地元の人が協力して外部から支援に来てくれたボランティアにお礼をする機会にもなった。被災地域では各世帯がバラバラに避難することを余儀なくされ、地域コミュニティの維持・再構築につながるサロン活動が求められた。しかし食事など人々が集まる仕掛けを地元で実施するのは難しい状況であったため炊き出しやイベントなどの仕掛けをしてくれる外部支援者をコーディネートすることで、人々が集まる場を作ることに貢献できた。災害支援活動を行う各団体が連携して活動することをサポートできた。支援シーズとニーズのマッチングをするという役割上、各団体の状況や思いなどを聞かせていただくことが多く、それらを別の団体に伝える橋渡しの役割も担えた。我々の活動拠点が支援者の立ち寄り場になることも多く、次の展開に向けた作戦会議が始まることもあった。業務フローを整理したうえで、主な業務を地元の支援団体に引き継いでいただき、地元主体の継続的な支援体制を作る手助けができた。
寄付者へのメッセージ	助成金をいただくことで1か月にわたる支援活動ができました。大きな災害時にボランティアが活動することは当たり前の時代になりましたが、その思いや志が生きるためには被災者のニーズを把握し活動の段取りをするコーディネーターが必要です。一度に大勢のボランティアが押し寄せるなか、なかなか個別のニーズに答えきれない実情がありましたが、おかげさまで炊き出しなど被災者を支える活動をコーディネートすることができました。ご寄付ありがとうございました。

(活動のようす)

